

10月4日「銀河のしずく」ついにデビュー!

10月4日(火)、7日(金)

岩手県産オリジナル新品種「銀河のしずく」販売開始

10月4日(火)、岩手県が約10年もの年月をかけて開発したオリジナル新品種米「銀河のしずく」が県内デビューを果たしました。これにあたり、JA全農いわてと株式会社純情米いわては同日、イオンモール盛岡南店にて試食販売会を実施しました。会場は、先着200名様分の「銀河のしずく」のバックごはんを手に入れようと並ぶ方や、炊き立ての「銀河のしずく」を一口味わおうと訪れる方で大賑わいとなりました。試食をした人は「従来のお米より甘い」「見た目が白くてきれい」など高評価。年内には、県内販売分が完売する見通しとなっています。

また、7日(金)、達増知事、JA岩手県五連藤尾会長らが、東京の銀座三越店や大阪の高島屋大阪店にて、トップセールスを行いました。今年度生産した700トンのうち、450トンを首都圏や近畿圏などで販売予定。JA全農いわて 畠山県本部長は「自信を持ってお勧めできるお米ができました。関係者一丸となって販売していきます」と今後の抱負を語りました。



試食では「美味しい」と好評でした



先着200名様へ「銀河のしずく」バックごはんを配布

宮城全共に向け第2区岩手県の出産候補決定

10月20日(木)・21日(金)

宮城全共第2区地区選抜会

和牛能力共進会岩手県出品対策委員会は、10月20日に全農岩手県本部県南家畜市場、10月21日に中央家畜市場にて平成29年9月に宮城県で開催される「第11回全国和牛能力共進会(全共)」に向けての第2区(若雌の1)地区選抜幹旋会を行いました。第2区は、出品時に14~17ヶ月未満の若雌を対象とした個体の出品区。今回は、約3~6ヶ月齢の対象牛を両会場合わせて36頭から21頭(県南=11頭、中央=10頭)を選抜しました。また、県南家畜市場開催時には岩手県農業研究センター畜産研究所の熊谷光洋次長が、中央家畜市場での開催時には、岩手県農林水産部畜産課の菊池伸也振興・衛生担当課長が、それぞれ主催の和牛能力共進会岩手県出品対策委員会を代表し、『がんばろう三唱』の音頭をとり、残り1年を切った宮城全共に向けて、参加した生産者の士気を高めました。なお、今回選抜された21頭は、残り2回の選抜会を経て計2頭(代表牛1頭+補欠1頭)に絞られ、岩手代表として出品されます。



選抜牛(県南家畜市場)

いわて国体で「純情産地いわて」をPR

10月1日(土)~11日(火)、22日(土)~24日(月)

希望郷いわて国体・いわて大会



県内外の選手やお客様へ純情産地いわてをPRしました

JAいわてグループは国体パートナーとして、希望郷いわて国体・いわて大会を支援しました。JA全農いわては、この秋デビューを飾った「銀河のしずく」やシャインマスカット、ジョナゴールドなどの農産物を販売し、特に「銀河のしずく」を使用したおにぎりは5日間で3000個を売れるなど、

県内のみならず県外からも注目されていることがうかがえました。

また、いわて牛普及推進協議会は県産牛豚肉の焼肉無料試食会を行いました。各日3回程度に分けて実施し、いずれも開始前から長蛇の列ができ、会場は大いに盛り上がりました。

希望郷いわて国体は天皇杯・皇后杯どちらも2位、いわて大会では139個(金55、銀42、銅42)と輝かしい成績をおさめました。希望郷いわて大会閉会式では、達増知事から中村時広 愛媛県知事へ大会旗が引き継がれ、熱戦に幕を閉じました。

NEWS WIDE ANGLE

最優秀賞「ベイクドおはぎ」

10月18日(火)

牛乳・乳製品利用料理コンクール 岩手県大会

岩手県牛乳普及協会は盛岡市西部公民館にて、県産牛乳の消費拡大を図るため、牛乳・乳製品利用料理コンクール岩手県大会を開催しました。このコンクールは今回で36回目。応募総数138点の中から書類選考で選ばれた10名が参加し、様々な工夫やアイデアを凝らした料理を制限時間1時間で作り上げました。

最優秀賞を獲得したのは、クリームチーズをこしあんで包んだ「ベイクドおはぎ」を作った佐藤綾乃さん(高校2年生)。佐藤さんは「皆さんが見ている中で料理をするのはとても緊張しましたが、ベストを尽くすことができました。工夫した点は、お米に色を付けるため、もちぎや黒豆を使用しましたところ。料理が大好きなので、来年も応募したいです」と笑顔で答えられました。



上に粉チーズをかけて焼き、見た目にもこだわりました

審査委員長の笹田陽子さん(盛岡大学栄養科学部教授)は「作業中の姿を見て、皆さんが本当に料理好きなのが伝わりました。最優秀賞を獲得したベイクドおはぎは、七分づきのお餅とクリームチーズが良くあって美味しかった。これからもたくさんの工夫をして料理の幅を広げてみてください」など、1つ1つの料理へコメントやアドバイスをしました。



最優秀賞を獲得した佐藤綾乃さん

茶美豚の産地を視察

10月26日(水)

生活協同組合ユーコープ「茶美豚農場視察研修会」

JA全農いわては、関東方面で茶美豚の販売に携わる生活協同組合ユーコープの組合員32名を集め、飼料用米の稲刈り体験や俵岩手畜産流通センターの視察などの研修会を行いました。稲刈りは、花巻市湯口にある圃場で実施。はじめは手刈りで稲の感触を確かめながら収穫しました。初めて稲刈りを体験するという人も多く、「腰が痛い」、「鎌を使いこなせない」など、苦戦していました。その後は、コンバインでの収穫。希望者がコンバインの操作説明を受け、実際に運転を体験し、「普段はなかなか



経験できないことだから、楽しんで学んで帰りたい」と笑顔で話していました。その後は、生産者との意見交換会や販売・加工施設を見学し、茶美豚に関する知識を身につけました。

初めての運転に悪戦苦闘しました



1つ1つ丁寧に刈り取りました



編集
後記

収穫の秋を迎え、県内各地では収穫祭や農業祭が開催されました。純情むすめのメンバーも会場へお邪魔し、盛り上げるとともに、様々な方と触れ合いながら彼女たち自身も楽しんでいる様子でした。また、希望郷いわて国体・いわて大会が閉幕し、少し寂しい気もしますが、選手たちの輝かしい活躍には、元気や勇気をもらえました。

10月1日からはFM岩手にて純情むすめの

「JUNJO HEART!」が始まりました!放送は毎週土曜日12:00~です。彼女たちの意外な一面が覗けますので、こちらもぜひ聴いてみてください。(小野)

【お詫びと訂正】

「クラーラ10月号(vol.807)」(平成28年10月1日発行)11ページの記事に誤りがございました。

誤)いわて牛の美味しさをPR!

正)養豚経営者 質・効率の向上を目指して

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。